

ぎかいだよりむらやま



写真/
ムララとハイチーズ!
ムララと地域おこし協力隊の2人

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→



2016
vol.90

2016年7月15日
発行

万円を追加

6月
定例会

☆新設保育園整備など



補正予算のポイント！

◎新設保育園施設整備などへ7千434万円

楯岡五日町に整備予定の新設保育園施設の土地購入費と工事請負費などです。平成30年の開所予定で今年度から整備をはじめていきます。

これに伴い、楯岡の新町保育園としてはと保育園は今後整理されていく予定です。

◎園芸振興事業など

2千425万円

産地パワーアップ支援事業費補助金として、さくらんぼの雨よけハウス新設・更新に事業費の二分の一を補助するものです。またアスパラとぶどうの資材導入の二分の一の補助などを行うものです。

◎徳内ばやし振興等事業

補助金 400万円

大久保櫻龍会とふもと山の神のそれぞれの手引きだし製作に対して、200万円の補助をするものです。

条例

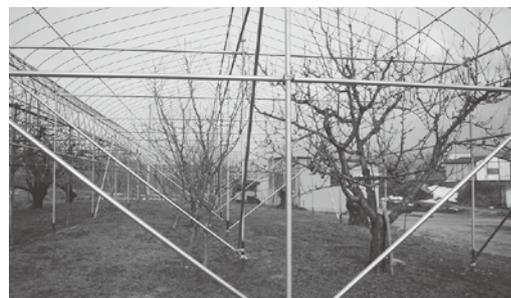
◎村山市市税条例等の一部を改正する条例

個人市民税の医療費控除の特例の新設、法人税割の税率の引き下げ、軽自動車税の軽減税期間延長並びに、環境性能割の導入を行うものです。

また国民健康保険税の被保険者にかかる税率などの改正を行うものです。

◎村山市立学校設置条例の一部を改正する条例

楯岡小学校の改築による旧楯岡高校跡地への一部移転に伴い、住所の変更を行うものです。



一般会計補正予算

1億8,244

総額125億2,244万円

出資法人の経営状況報告

土地開発公社

平成27年度は、楯岡二日町に「スマイルタウン二日町」5区画を改成し、継続事業の楯岡北町グリーンタウンの残地6区画とともに積極的に分譲販売活動を行った。

「スマイルタウン二日町」は、全5区画の内4区画が契約済となったが、楯岡北町グリーンタウンは分譲価格の見直しし値下げしたが、分譲には至らなかった。

今後は、市の子育て応援、定住促進などの村山市の新しい施策を宣伝し



スマイルタウン二日町

ながら努力していくとしている。

なお、当年度当期純損失は2747万円、前期繰越準備金を減額処理した。



クアハウス基点のRVパーク

(財)余暇開発公社

基点レクリエーションセンター、道の駅むらやま、レストハウス東沢を中心とした各事業を展開した。

○クアハウス基点

新温泉棟オープンから丸2年経過し宿泊や宴会利用者も持続している。駐車場不足は機械室西側に約20台分の拡張工事を

実施した。

○道の駅むらやま

消費税増税による消費の停滞からすこしずつ脱却し、前年並みの収益を上げることができた。

平成27年度一般財団法人村山市余暇開発公社の当期純利益金

単位：円

当期純利益会計区分	平成27年度	平成26年度	比較
法人・余暇開発事業	△422,332	△743,840	321,508
クアハウス基点・健康づくり事業	△20,931,284	△9,092,239	△11,839,045
道の駅むらやま	17,301,401	16,551,359	750,042

に当たっている。

平成27年度は協会創立60年として、バンクーバーパラリンピック銀メダリスト「太田渉子」氏の記念講演会や楯岡中学校グラウンドにて「マラソン世界記録に挑戦」を実施し、170人でバトンを繋ぎ42・195キロメートルを1時間56分44秒で完走した。

なお、平成27年度末における法人全体の正味財産期末残高は、2千760万円の前年度より79万円の増となった。



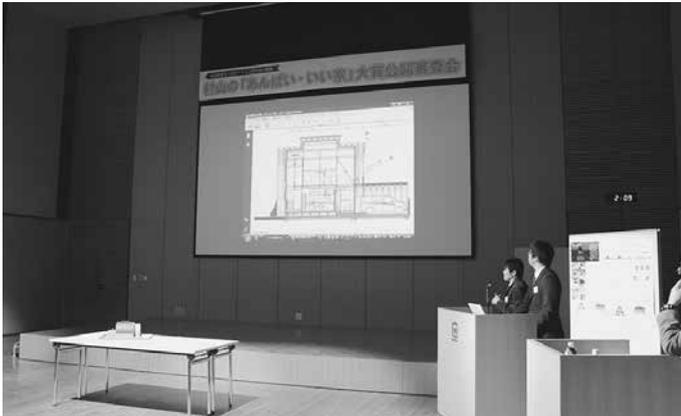
昨年のスマイルマラソン

(財)村山市体育協会

生涯スポーツ推進事業などのほか、指定管理者として体育施設管理運営

村山市地方創生対策

特別委員会設置へ



◎議員発議で設置へ

このたび村山市議会は、村山市地方創生対策特別委員会を設置します。これは、現在国において地方創生に関する関連法が制定され、村山市においても「総合戦略」「人口ビジョン」を策定し、今年度から各種事業を展開しています。しかし事業が多岐に渡ることや、補正予算に多額の予算が計上されていることなど様々な検討・調査が必要であり、議会としても今後詳しく調査し、成果を検証することが必要だと今回の特別委員会の設置になりました。

今後、村山市のまち・ひと・しごと創生が具体的にどのように展開されていくのか、国の動向も見ながら有効な政策となるよう注視していきます。ごきだいだよりでも内容について随時掲載してまいります。

全国市議会議長会より 議員表彰・感謝状

このたび、全国市議会議長会より、次の方々が表彰されました。おめでとうございます。



感謝状
全国市議会議長会
監事
海老名幸司 議員

感謝状
全国市議会議長会
監事
森 一弘 議員



一般表彰
勤続10年以上
長南 誠 議員

特別表彰
勤続20年以上
茨木 久彌 議員



灯台もと暗し

菊池 大二郎 議員

Q 村山の売りは結局のところ、歴史や食も含めた文化など、この土地に根付くものと考え、この点、開催中のバラまつりも本市の売りと言え

A 草が生えているのは承知。市民が自発的に行うよう民度の向上を待つ。

Q 民度の向上の機運は行政や我々議員一人一人がまず先頭に立って

A 行政側から率先してやることはしない。

Q 居合や大わらじも本市の売りといえるが今後の施政方針は。

A 居合は目玉となる。徐々に投資して行く。

Q 榎高跡地利用について進展はあるか。



バラまつり開催後もこうした場所が多数見受けられる本市

A 学校関係の誘致につき、特段、進展ない。

Q 総合芸術に対応できる北村山唯一の県立文化施設の建設、同時に市役所を併設して市民交流の拠点に。また、県の環境センターが本市にあることから環境省の東北分室を誘致し、自然エネ

A ルギーや環境問題を発信する拠点に名乗りを上げるなど高い目標設定を要望。

Q 低迷する投票率向上の糸口として、ふるさと納税寄付者に参政権的サービスを付与し、寄付後も本市との関わりを持てる制度構築も面白い

A 9月スタートを目指して現在事業者を選定しているところだ。甌葉プラザ内に開設予定でいる。

Q 現在のコワーキングスペースの進捗状況は。

Q 山形市七日町のトンガリビルのように異業種の人達が創業し利用できるよう、榎岡商店街の空き店舗を利用できないか。

A 県で行っているチャレンジ創業支援では、空き店舗利用の際に補助が上乘せなっている。そのような支援を利用しながら今後進めていきたい。

Q 公共施設等総合管理設計の現状は。

A 市内公共施設のインフラ設備についての管理計画をすすめている。いわゆるハコモノといわれる施設は14ヶ所ある。統廃合や除却も視野に入



公共施設の今後のあり方は

長谷川 元 議員



新設保育施設予定地

れながら11月まで取りまとめたい。

Q しろはと・新町両保育園が統合され、旧跡地利用に関しても要望が出されている。しろはとに児童保育が移れば甌葉プラザ内の既存スペースが空く。改装して子育

て支援施設の見直しを進めてはどうか。

A 検討していきたい。

Q 施設の除却と民間への売却も含めた検討もすべきで聖域をもつけるべきではない。今後の計画に期待する。



国保税負担は限界。一般会計からの法定外繰入増額で値上げ中止を

中里 芳之 議員

Q 本市の国保加入世帯の平均課税標準額は88万円しかなく、5年間で11万6千円も下がっている。一方、平均所得に占める国保税の割合はすでに10%を超え、今回の値上げで17%から24%にもなる。値上げを検討す

る際に、加入世帯の所得階層別世帯数とその推移、滞納世帯数と所得階層別滞納世帯数、国保世帯の職業構成などについて把握・分析はおこなったか。

A それをここで聞いて意味があるのか。国保税の収納システム上把握できない。

Q 収納システムを改修するなどして、加入世帯の実態を行うべきではないか。

A たいへんな世帯があることもわかるが1軒1軒見るのはここではそぐわない。

Q ある程度の実態把握もされていない中で国保税を引き上げてよいのか。高すぎる国保税はすでに限界を超えている。一般会計からの法定外繰入3千万円は少なすぎる。財源不足9千万円を全額法定外繰入して値上げを止めるべきだ。

A 村山市も貧困世帯の特別な計で加入者は4割程度。そこだけにお金を出すのは困難だ。

Q わずか5世帯分の住宅開発のために2千万円の赤字を出す方が不公平だ。



市民の安全・安心のため放射能測定器の導入を

川田 律子 議員

Q 県内産のこしあぶらから放射性セシウム137が基準値を大幅に越え検出されたが、村山市の農産物の測定と結果は。また今後の対応について問う。

A 昨年度は77件で牛肉が主なものですべて不検出。市で半額助成している放射能検査は、26年度3件、27年度は1件、28年度は0である。新聞報道後の測定では、わらび、みず、ふきはいずれも不検出。こしあぶらは基準値を下回った。来年度、県は全市町村のこしあぶらを出荷前に検査。JAは主要農産物を検査の予定である。

Q 原発の事故から5年経つが、セシウム137の半減期は30年といわれている。市民が簡単に測定できる放射能測定器の導入を考えるべきでは。

A 前回も言ったと思うが、測定器の性能、価格、正確さなど含めて検討させていただく。

Q 昨年の秋開通した徳内シーボルトラインだが、バラ公園への誘導がなく、せつかくの道路が有効活用されていないのでは。また小松沢観音

A 標識を直している最中であり、まっすぐ行くようにしたい。少数意見も大事にしながら、なるべく草刈りでやるよう検討する。



地域医療構想の要となっている北村山公立病院



昨年秋に開通した徳内シーボルトライン



予備消防団の設立を要望する

石澤 祐一 議員

Q 消防団員の就業変化や移転・核家族化による火災が発生した場合作業体制が取れるのか。また消防団に入団する若者がなく、いざ火災が発生しても自主防災ではポンプ車などの施設が使用出来ないため退役消防団を生かすためにも予備消防団の設立をすべきではないか。

A 団員数は定数810人に対し現在80人でほぼ定数を確保しているが、団員確保に苦慮している地域もあり先を見据えた再構成を調査検討している。地域の理解を得ながら車輛配備などの条件を満たしたところから順次実施している。消防団員の8割はサラリーマンであり日中不在となっている。予備消防団は県内で11市町村で東根・尾花沢などで設置しているが、

公務員でないため補償の問題があり今後協議していきたい。

Q 幕井貯水池の29年度村山市重要事業として新規に計画している。下流域の水田では用水不足を起しており、補助金が充実している今、早

急に対応すべきではないか。

A 農業用ため池として下流の用水不足もあり補水用として平成29・30年の2カ年で調査を実施し、31年から事業を実施したい。市負担は事業費の14%である。



村山市消防大演習（東沢公園）



子どもたちに屋内の遊び場を

高橋 菜穂子 議員

Q 楯岡地区以外の人口減少について、どのように分析しているか。もうかる農業ができる環境を整えることが人口対策になると考える。そこで、市では直売施設を整備する考えはあるか。

A 社会の構造変化により、農業者が減少していることが楯岡以外の地区での人口減少の原因であると考えている。利便性の高い楯岡に大規模な団地を造成することなどを考えていきたい。直売所は現在、駅西の開発地に考えており、JAと相談をして準備を進めている。

Q 子どもの遊び場の整備計画の進捗はどうか。また、雨の日でも雪の日でも遊ぶことができる室内遊戯施設をクアハウス基点旧浴場に設置してはどうか。

A 大久保地区に遊具を備えた遊園の新設に向けて調査を行っている。クアハウス内の室内遊戯施設については検討をした



クアハウス基点旧浴場

A どのような方法があるか検討していきたい。

Q 第一子からの保育料半額助成を一時保育へも拡充し、さらに母親

A 前向きに検討して実施したい。

の気持ちに寄り添う形で子育て世帯への支援を考えていきたい。



将来に向けた村山市の道路行政は

大山正弘 議員

Q 市役所から主要道路を一本真南に通して区画されていくべきでは。
A いま計画している社会福祉協議会のある所から、長瀬に向かう市道楯岡長瀬線を優先し真南に延びる道路については、駅西の開発に合わせて検討していく。

Q 楯岡小学校へ大型バスが進入できる車道確保は必要ではないか。
A 旧13号晦日町T字路から楯岡小学校に向かう楯岡小通りは、旧道交差点から約70メートル区間が狭いために、今後は拡幅が可能かどうか検討する。大型バスが楯岡小学校まで乗り入れると徒歩で登校してくる子どもたちも多く危険である。またバスがUターンするときも危険であること。冬季はさらに危険になることで、現状の姿になっており、下校時は小学校



楯岡小学校の下校風景

からバスに乗っている。
Q 南北道路楯岡荒町から楯岡小学校への道路、東西線道路楯岡十日町から東沢公園への道路の貫通実現を聞く。
A 楯岡小学校から真南に、都市道路楯岡東根温泉線までの道路貫通については、現在ある市道がスクールゾーンの中で通学路となり得るので考えていない。楯岡十日町から東に延びる都市計画道路は、今年度着手する楯岡東根温泉線の事業を優先しており、その後のことになる。

審議結果報告

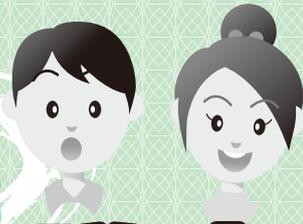
(6月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ							日本共産党 村山市議員		改革 クラブ		無党派				賛 成	反 対	
			高橋菜穂子	石澤 祐一	長谷川 元	長南 誠	秋葉 新一	茨木 久彌	海老名幸司	川田 律子	中里 芳之	結城 正	菊池 貞好	菊池大二郎	矢口 正	佐藤 昌昭	大山 正弘			森 一弘
市長提出議案 条例	村山市市税条例等の一部を改正する条例について	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議	13	2
補正予算	平成28年度村山市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	議	8	7	
	平成28年度村山市国民健康保険事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議	13	2	

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席

とどけ!
市民の声



4月27日～28日

議会報告会開催

議会基本条例で定められた議会報告会が楯岡・西郷・大久保・富本の4地域の各市民センターにて開催されました。28年度一般会計予算、特別会計予算などの概要を説明し、各常任委員会での審議内容、27年度補正予算案を報告しました。

各地域とも活発な意見や質問が多く出されていました。議会報告会は市民の声を届ける貴重な場所です。今後とも、多くの市民の方々の参加を目指して活動して参ります。

市民の意見・要望対応

楯岡地域

- ・村山駅駐車場がどんどん狭くなってきている。不法駐車車の撤去について条例制定などし、早く対応してもらいたい。
- ・消防団の活動のために幹部に無線を配備してもらいたい。
- ・駅西や東沢公園の桜ライトアップについて、全体的に考えてPRしてほしい。



- ・子どもたちが遊べる場所を村山市内にも整備しPRを行って賑やかにしてほしい（東沢の坂を利用したソリ乗り場）。

西郷地域

- ・楯小の通学路の決定はどのようにされているのか知りたい。市民の意見を聴いて決定してほしい。

大久保地域

- ・保育園の民営化が進んでいるが保育士の待遇改善や質の高い保育は公的な安全性があつて初めてなされるのでは。保育士の話を聴いて進められているのか疑問だ。これからの村山の未来を担う子どもたちのために市の予算をしっかりと使してほしい。
- ・消防団員不足を解消するため人員確保のため、条例をつくつたらどうか。男性が入らず女性を補充しているところもある。報酬も安い。歳入を増やすためにもっとふるさと納税に力を入れてほしい。
- ・民生児童委員について地域毎に差がある。全体的に計画を立てて人員配置などを見直す必要がある。

- ・施設設備について、西郷市民センターが老朽化し、ガス台やストーブ類が故障しているのを修理してほしい。また、同センターと西郷小は一体的になつている。それに見合った整備をしてほしい。

富本地域

- ・民生委員の定数に対する行政からの説明不足について改善を求める。
- ・高速道路との接続道路の整備が遅れが見られるので早急に進めてもらいたい。
- ・北山桜公園をもっと整備して子どもが遊べるようにしてほしい。
- ・室内のグラウンドゴルフ場を作つてほしい。

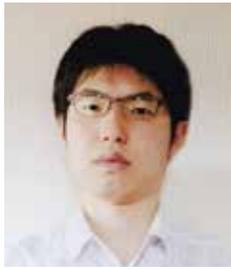


- ・基点グラウンドゴルフ場、駐車場が竜神社の所にてきてありがたい。金谷のグラウンドゴルフクラブハウスのような施設を作つてほしい。また、パソコンを利用できる様に電源設備を設けてほしい。
- ・市道について消雪ポンプがまだ使えるのであれば維持してほしい。
- ・湯野沢地区は地滑りの危険箇所指定されている所が多い。地区の避難場所として特老施設（ふもと、はやま）だけで充分に足りるのか。
- ・中村遺跡の今後について市の考えを示してほしい。

議会報告会の結び

今回皆様からいただきました貴重なご意見を執行部に要望いたしました。次回は10月を予定しておりますので是非ご来場のうえ、お声をお寄せください。

市民の声



高梨光法さん(楯岡)

私は楯岡出身で、現在は山形大学大学院農学研究科の修士課程に在学しており、植物遺伝資源学分野に所属しています。本分野のキーワードの一つは在来作物です。この意味は「ある地域で、世代を越えて、栽培者によって種苗の保存が続けられ、特定の用途に供されてきた作物」になります。現在山形県内では160品目以上の在来作物が確認されています。本市の大谷地沿のジュンサイもその内の1つです。農村地域には市販の商業品種とは異なる在来作物が連続と伝えられています。

この中には地域固有の歴史、文化、栽培の知恵等とセットになっている場合があります。つまり食料としてのモノ的価値の他に知的財産を伝える媒体としての価値があります。これは地域の貴重な資源になります。まだ本市にも在来作物が埋もれている可能性があるかも知れません。是非、皆様のお近くをお探しになってみて下さい。



〈表紙写真〉

4月から村山市地域おこし協力隊として市役所に勤務している東怜鹿さん(28)とモハマド・ナジュウ・ビン・アブ・ハッサンさん(26)。2人はご夫婦で東京とマレーシア出身。2人を見かけたら気軽に声をかけて下さい。



市議会のしくみ



村山市議会には、議場で開催される本会議の他に、下記の委員会等が設置されています。

名称	目的
常任委員会	所管する事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査
議会運営委員会	議会の運営に関する事項等について協議
特別委員会	必要がある場合に、特別の事件について調査及び審査
会派代表者会議	会派間の意見調整その他議会運営上必要と認める事項について協議又は調整
全員協議会	市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整
常任委員長会	各常任委員会の運営において共通する事項について協議又は調整
議会だより編集委員会	議会だよりの編集及び発行

議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中

詳しくは、<http://gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会中継(ライブ中継・録画中継・外部リンク)より

議会だより編集委員会

- 委員長 大川 正弘
副委員長 川田 律子
委員 長南 誠
長谷川 元
結城 正
石澤 祐一
菊池 大郎